

鳥取県青少年育成アドバイザー協議会通信

鳥取県青少年育成アドバイザー通信 52号
鳥取県青少年育成アドバイザー協議会
発行日 2008. 1. 30
編集 芳村恵子
〒680-0002 鳥取市浜坂東 1-10-15

次代を担う子どもたちのために

井上 廉女

平成18年12月に教育基本法が約60年ぶりに改正され、平成19年6月、学校教育法の一部改正も行われた。

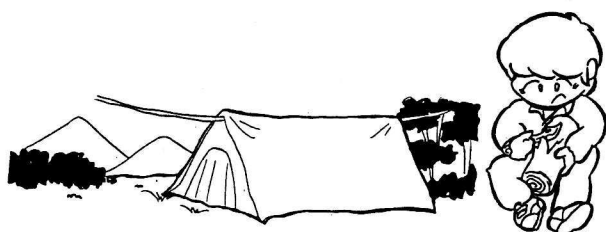
生きる力をはぐくむという理念はますます重要で今後とも継承され、教育内容の主な改善点として

- ①言語活動
- ②理数教育
- ③伝統や文化に関する教育
- ④道徳教育
- ⑤体験活動等の充実を図るとされている。

中教審は、今後幅広く意見を募った上で引き続き審議を進めて答申を取りまとめるとともに、文部科学省では、学習指導要領の改訂を行い、平成21年度からの移行措置を経て、小学校では平成23年度から、中学校では平成24年度から完全実施を予定している。



自分に自信が持てず、将来や人間関係に不安を抱える子どもたちの現状を踏まえると、コミュニケーションや感性、情緒、知的活動の基盤である国語力を重視し、体験活動にももっと力を入れていきたい。これには、学校や教師以外にも地域の大人や異年齢の子どもたちとの交流、自然の中での集団宿泊活動や職場体験活動、ボランティア活動等々、他者、社会、自然、環境との直接的なかかわり合いが重要である。今まさに家庭や地域の果たすべき役割が極めて大きくなってきている。



我が江府町では、子どもたちに森と水をキーワードにしたさまざまな体験学習の場が今後予定されている。今春操業を開始するサントリー新工場CMの全国放送も1月からスタートしているのでぜひごらんいただきたい。平成21年度春の小学校統合に向け課題が山積しているが、同時に夢もはてしなく広がってきている。

最近思うこと

清水 成眞

皆さん、元気でお過ごしのことと思います。最近ショックだったこと、それは「感動」することが少なくなっている自分に気がついたことです。これは、非常にショックでした。

考えてみれば、昨年12月、なんとも感じることなく年末を迎え、なんとも普通に大晦日、12:00には、何にも考えることなく正月を迎え、子どもたちが、「おめでとう」と興奮したように言っても、感動することなく「おめでとう」といい、三が日もごく普通に過ごし、今日は、1月15日で「とんど祭」ということまで妻に言われて思ひだし、ごく普通の老人になろうとしている自分にショックでした。

小説家の宗田理さんが、こんな詩を書いています。

ガンにも負けず、中風にも負けず
「まだ生きてるの」と嫁に言われても
落ち込まない、強い心を持ち
寒い冬には、部屋を春のように暖めて
風邪を引かず
暑い夏には、避暑に出かけて
体調を保ち
都合の悪い話には、耳が聞こえないふりをし
約束したことは、

「ボケてしまって」とやぶり
まずいことは、笑ってごまかし

早く死にたいからと言って、好きなものを
好きなだけ食べ
行く雲のように、流れる水のように
ゆうゆうと焦らず、くよくよせず
イタズラだけは、シッカリやって
みんなを困らせ
まわりから、
「もういい加減にあの世へ行っ」と
言われても、苦にせず
そういうものに、私はなりたい。



思わず、大笑いしてしまいました。

皆さんもこんな年寄りを目指して一生懸命頑張りましょう。

子どもたちに、「感動」を与えられるような活動を今年、是非一つやってみたいと思います。

2月の研修会では、「私は、今年こんなことをやってみたいと思う」と胸を張って言えるように何か考えたいと思います。皆さんの今年の活動の目標を聞くことも楽しみにしています。

最後に、妻に、「パソコンが奥さんみたいだわ。(´o´)」と毎日言われながら暮らしている自分が悲しくなります……。



第3回研修会に向けて

皆さんのお手元にも研修会のお知らせが届いていると思います。

「コーチング」について講演が予定されています。興味あるテーマで、楽しみにしています。

コーチングを一言でいうと、「人を育てるための一つの方法」であるということだそうです。

「育てる」ということは、並大抵なことではないことも、そしてそれだけに楽しさや遣り甲斐感も多く経験してきました。

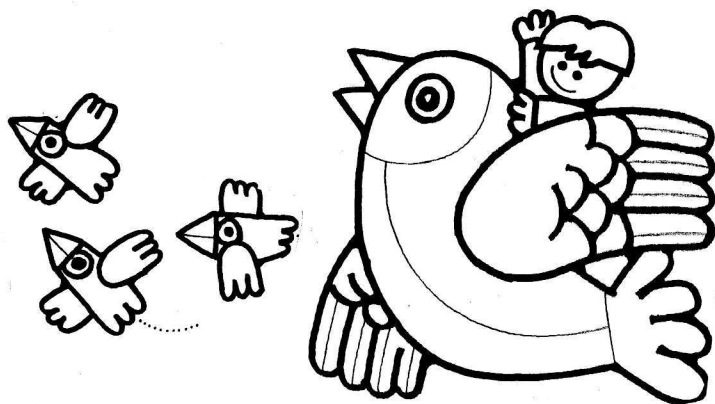
自分の子育てから、職場での後輩から、そして長年お付き合いさせて頂いているアドバイザーの皆様からもいっぱいコーチングを受けてここまで来れたんだとも感じています。

今、もう一度「何となく」でなく、頭の隅っこに支柱なるものが持てたらと思います。

一人でも多くの方々と楽しい学びの時を持てたらと願っています。そしてその後の懇親会で皆さんの近況をお聞かせいただくことも楽しみにしています。

お世話役の皆さん、宜しくお願いいたします。

芳村恵子



編集後記

この冬も、温暖化のせいかわ雪も少なく、それでいて寒さを感じると「本当はこれだよ」と逆に安心するような変な気分です。

例年の発行時期からズレズレになって、ようやく52号が出来上がりました。原稿を下された方々にお礼申し上げます。

次回は3月末か4月に発行を考えています。この度の研修で学んだことなど、皆様のご意見をお寄せください。お待ちしております。



oine.oine.oinechan@fork.ocn.ne.jp
(word で入れてください)